

はばたけ!

帯広市立大空中学校だより

星と森の大空へ

No.1 1 令和元年 7月12日発行

進んでやることの大切さ いつかやるから今やる へ

「人から背負わされた荷物は重い、自分から背負った荷物は軽い」

何事も人に言われてやるのは心が重くなり、嫌になるところもありますが、自分から進んでやると、やること自体、そして成し遂げた時の喜びが、大いに湧いてくるところがある、そんな意の言葉です。

「隣の麦飯はおいしく見える」ではないですが、私たちは隣、つまり他の人がよく見えて、ねたんだり、うらやんだりしがちですが、みなさんはどうでしょう。人間、どこかにそんな気持ちがあるのかも知れません。

しかし、よく考えてみると、自分の道は自分が選んだ道です。他から押しつけられた道ではありません。自分の道は自分から背負った荷物と考えて、どんなに苦しくても、重くても、それに打ち勝っていかなければなりません。自分から背負った荷物が軽いというのは、自分から積極的に立ち向かっていく情熱と信念があると、その苦しさや重さを払いのけていくことができると思うのです。

進んでするのは上の上 まねてするのは中の中 言われてするのは下の下

という言われ方もあります。

さて、部活動の市中体連大会がおわり、3年生の活動はほぼ一区切り、これからは、徐々にあとを受け継ぐ1、2年生中心の時代に入ってきます。3年生は中学校での現役選手として、最後の大会を迎えたこの時期の気持ちはいかんばかりでしょう。好きで選んだ部活。これまで厳しい練習にも自ら進んでがんばり抜き、緊張感高まる大会での経験を重ねる中で、技術的な向上はもちろん、精神的にも肉体的にも逞しくなり、そして仲間との絆を深め、仲間を思いやる気持ちも育まれたことでしょう。一人一人がしっかりと目標をもってがんばってくれたことをうれしく思います。

こうしたやり遂げたという達成感や満足感のあとに、わき上がってきやすいのが、解放感とともに脱力感や燃え尽き感です。次なる目標を見いだせず、生活の中から情熱を傾けていた部活動の時間がすつぱり抜け落ちて、休みの日など何となく一日が過ぎてしまうということは、決して珍しい話ではないのです。自分で目標を立て、自分から進んでやって、やり続けてきた部活動。勝ち負けよりも、それは何よりも尊いことです。このがんばりは、もちろん自分だけの力ではなく、保護者や指導者、そして仲間、関わりある様々な人たちとの関わりがあつてこそ。そんな感謝の気持ちを持ちつつも、3年生には次なる受験や進学などの目標をしっかりとって、ひたすらにがんばってくれることを期待するものです。

～ 学校教育目標 ～

北の文化を拓く

「明るく健康な心身と個性

豊かな英知を育む」

校長 黒島 俊一



市中体連大会での大空の熱い戦いから

16日(火)は全校参観日です。お待ちしております

<参考文献> 心を揺る講話の力(教育開発研究所)

夏の交通安全運動

令和元年
夏の交通安全運動

飲酒運転 軽い気持ちで
重い罪

【平成30年度 JA共済全道小・中学生交通安全ポスターコンクール】
最優秀賞(中)北海道教育庁
北斗市立大野小学校(入賞当時5年生) 山中 心愛さんの作品

運動の重点
●飲酒運転の根絶
●子供と高齢者の交通事故防止
●スピードダウンと居眠り運転の防止

統一行動日(セーフティコール)
飲酒運転根絶の日

7月11日(木)
7月13日(土)

夏の交通安全運動が全道一斉に行われています。期間は7月11日～20日の10日間で、今年の運動の重点は、①飲酒運転の根絶 ②子どもと高齢者の交通事故防止 ③スピードダウンと居眠り運転の防止ということです。

特に②にかかわっては、4月より、本校は校区全域での自転車通学許可制となったことにより、今時期は大部分の生徒が自転車通学をしています。1学期間に、自転車通学による大きな問題は発生していないものの、今後も子ども達が事故に巻き込まれないとは限りません。大空地区から交通事故による被害者も加害者を出さないよう、みなさんで気にかけていきましょう。

お子さんをはじめ家族の外出時、などは互いに、「気をつけて」の声かけ、また全国的にも「ながらスマホ」の指摘も見られており、取扱いも確認したいところです。(左記ポスターの原画コンクールが農協・警察の主催で行われています。夏休みにチャレンジしてみてもは。詳しくは担任まで。)

校名募集とともに、『どんな学校に、どんな子どもたちに』と考えていくかは、新しい学校を創っていく上でのよりどころとなります。

過日、保護者のみなさんにアンケートをお願いしましたところ、ご意見等思いを多数お寄せいただきました。ありがとうございます。

主な声としては、大空地区の子ども達のよさとして、あいさつができる、のびのび活発、素直、仲間意識が強い、やさしい等の声の一方、自己肯定感が低い、学習量等学力の不安、競争意識の希薄さ、ネット依存の傾向、狭い間柄だけのコミュニケーションについて不安視する声も。また義務教育学校開校に向けては、子どもと地域の交流や異学年交流、学力向上に向けた取組、仲良く向上心、思いやりのある子、笑顔、やさしさや人間関係を良好に保つ感謝の気持ちの育みなどに期待する声が寄せられました。

加えて、教職員による一人一人の子ども達への気配り、心配り、指導が行き届いているという声も寄せられているのはうれしいことでした。

みなさんの声は、新設校の目指す子ども像、教育理念をつくる基礎資料とさせていただきます。

義務教育学校の「めざす子ども像」アンケートから

小中合同体力運動能力調査

小中連携した取組として、4年目となる小中合同の体力運動能力調査が行われました。この取組は市内でも唯一の取組です。過日大空小4～6年生の子どもたちを迎え、本校2年生がそのサポートとして各種目の測定をしました。教え教わり、仲むつまじく進められる光景は、小学校時代に教わってきたような優しい雰囲気をかもし出していたように感じます。見ていてとてもほほえましい光景でした。



体力運動能力調査から

帯広市教委は2022年度に開校予定の大空地区義務教育学校について、新しい学校名の募集を始めた。大空小学校と大空中学校の校区内の住民らを対象に案を集める。8月31日必着。市では大空小・中を統合し、大空中を改修・増築して施設一体型の義務教育学校(小中一貫校)を開校す

大空の一貫校 名前考えて!

新設校は帯広市立の「義務教育学校」となり、その「city・oblivion・hokkaido」など。詳細は市教委ホームページや準備協議会事務局(0155・65・4201)へ。(細谷敦生)

現在、両校のPTAなどで構成する準備協議会が設けられ、校名や校章など、22年度の開校までの準備を進めている。応募はファクス(0155・23・0161)やEメール(school_general@city-oblivion.hokkaido.jp)などから準備協議会が選定する。

区内の住民。集まった校名案の中から準備協議会が選定する。

既に応募用紙を配布しています。思いをのせて、夢をのせて、素敵な名前をたくさんお寄せ下さい。どんな名前が集まることでしょう。

大空地区義務教育学校 校名募集

7月9日付 十勝毎日新聞より

夏休み自主学習会

7月29、30、31日

過日ご案内しておりますが、講師は昨年同様に地域ボランティアのみなさんをお願いしていますが、今年是最終日の31日に、緑陽高校の先生にも講師をお願いしています。全学年対象で数学と英語の学習に取り組みます。〆切りは17日。ぜひ参加を!